

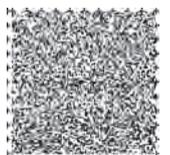
りいぶる



表紙デザイン作者：ひろのみすえさん（イラストレーター、和歌山県在住）



りいぶる★アイ 男女共同参画特別公開セミナー 村木厚子さん講演レポート
女性が「一生職業を持つ」和歌山県での理想と現実は？
特集 ほかの国から男女共同参画を見てみよう





「女性活躍推進法」が成立して約1年。働きやすい社会に向けて、様々な取組が始まっていますが、いまだ数多くの課題があります。“りいぶる”では、男性キャリアの多い中央省庁において管理職を歴任し、様々な苦難も乗り越えてこられた村木厚子さんをお迎えし、女性活躍の重要性と働く女性へメッセージをいただきました。



男女共同参画 特別公開セミナー

「あきらめない

～働くあなたに贈る真実のメッセージ～

講師 村木 厚子さん (前厚生労働事務次官)

6月15日(水) 和歌山ビッグ愛大ホール

自身のキャリアを振り返れば、「女性」の分野に関わる仕事が多かったと語る村木さん。将来的に急激な人口減少社会が訪れ、2060年には15～64歳の働く世代1人で65歳以上の高齢者1人を支えることになるとの厚生労働省の予測を紹介、また出産後の女性の社会進出が十分に進んでいない現状を指摘して、社会の活力を維持するためには、今以上に働く女性を活かしていく必要があると語られました。

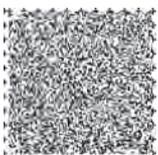
また女性の就業率と出生率の国際比較では、女性の就業が進んでいる国ほど出生率が高くなる傾向があることから、女性の就業促進は少子化対策にも効果的であると説明。ただし、ジェンダー・ギャップ指数(※)の分析では、日本の女性は健康や教育のレベルが高いにもかかわらず職場や政治分野での進出が遅れていることから、「日本は女性の潜在力を活かしきれていない『もったいない国』と諸外国から言われます」と話されました。

女性が活躍するには、男女を問わず長時間労働の改善が必要で、これにより女性にとって仕事と家庭の両立がしやすくなるだけでなく、男性も家事育児に参加しやすくなり、女性の負担が軽減されるようになると述べられました。

後半では、共働き世帯として夫と協力してきた自身の経験にふれ、保育ママや職場、近所の方々などの協力に支えられ仕事と家庭の両立をしてこられたと話されました。困難も多くありましたが、その経験がその後の仕事に大きく役立ったといい、「フルに働けないことはハンデではありません。やりがいのある仕事はあきらめないでほしい」とエールを送られました。

終わりに、経済成長には多様な人々が参加する「ダイバーシティ」が必要不可欠で、みんなで前に進める社会づくりに大切なキーワードは「包摂的成長(inclusive growth) = 誰かを取り残さない、女性や高齢者、障がい者などみんなが参加する成長」ですと結ばれました。

(※ジェンダー・ギャップ指数の詳細には、本誌4ページを参照してください)



あなた
働く女性へ

～村木さんからのメッセージ

新しい仕事のチャンスがあれば引き受けて

職場でも地域活動でも、自分の間口を広げると結果は「掛け算」で返ってくる!

昇進のチャンスがあれば引き受けて

昇進とは階段をのぼること。それまでの場所では見えなかったものが見えてくる!

言いたいことは、自分のやるべきことをまずやってから

やるべきことをやらずに言えば「文句」!
やるべきことをやってから言えば「提案」!

女性同士のネットワークをつくろう

先輩、同期、後輩…様々なアドバイスを聞いて自分に合う方法を選ぼう!

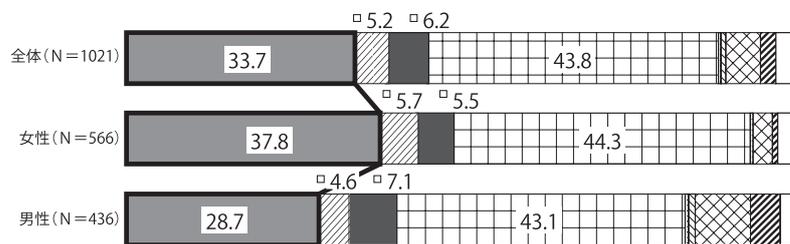
考えすぎず、立ち止まってもいい
あきらめないで

女性が「一生職業を持つ」 和歌山県での理想と現実とは？

平成 27 年度和歌山県「男女共同参画に関する県民意識調査」報告書から、女性が結婚や出産に関わりなく一生職業を持つことについて、理想と実際の生き方を比較しました。

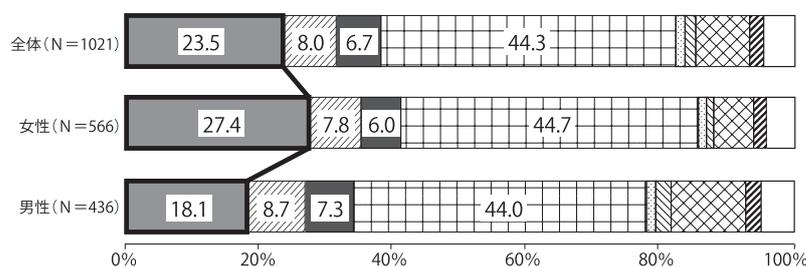


【理想の（理想としていた）生き方】



- 結婚や出産に関わりなく、一生職業を持つ
- ▨ 結婚までは職業を持つが、結婚後は持たない
- 出産までは職業を持つが、出産後はもたない
- ▨ 結婚または出産を機に一時仕事をやめるが、その前後は職業を持つ
- ▨ 結婚または出産後、初めて職業を持つ
- ▨ 一生職業をもたない
- ▨ わからない
- ▨ その他
- 無回答

【実際になりそうな（現実そうになっている）生き方】

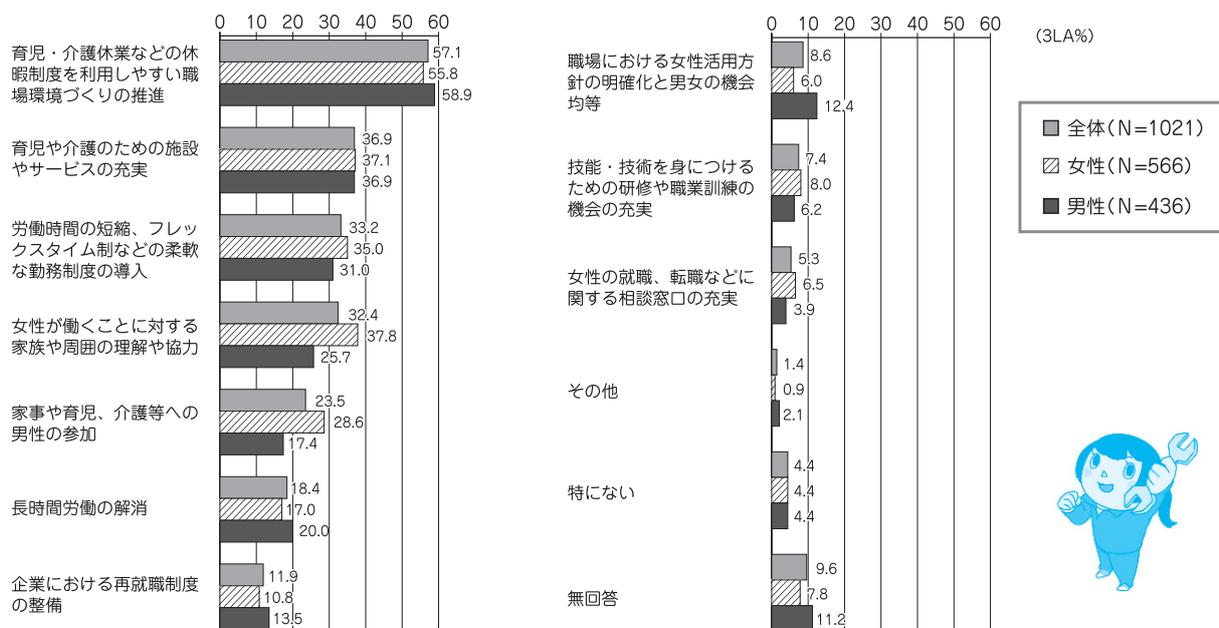


調査報告書全文は県 HP でダウンロードできます。



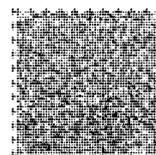
結果をみると、女性の生き方について「結婚や出産にかかわらず、一生職業を持つ」ことを理想とする（していた）割合に比べ、実際にそうなりそう（現実そうになっている）と回答する割合は男女の回答とも 10 ポイント低くなっています。働きたい女性が、結婚や出産により仕事を辞めることなく働き続けるためにはどんなことが必要なのでしょう？

女性が継続して就労するうえで必要なこと



女性が継続して就労するうえで必要なこととしては、「育児・介護休業などの休暇制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」の回答が男女とも最も多く、働く環境の整備が必要であることがうかがえます。

男女の回答を比べると、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力」を必要と感じる割合が女性は男性より 10 ポイント以上高いことが特徴的です。「女性は家庭」といった固定的な性別役割のイメージにとらわれず、女性がいきいきと自分らしく働ける和歌山にしていきたいですね。



特集 ほかの国から男女



日本では「あたり前」だとされてきた慣習や価値観が、外国の方からすると意外に思われることってありますよね。男女共同参画においても、国によって価値観や取組は様々です。そこで、和歌山で暮らす外国人女性に、男女共同参画やジェンダー※に関するお話を聞いてみました。

国がちがえばナントカ…ですが、日本とのちがいを知ることによって、そこから私たちの社会を変えるヒントが見えてくるかもしれません。

※ジェンダー：「男性だから、女性だから～であるべき」といった社会的・文化的につくられた性別



イギリス出身：山本トレイシーさん

(英会話教室運営・英語講師)



イギリスは、1970年代から男女同一賃金や性差別禁止が法で明文化されるなど、男女共同参画にかかわる取組を進めてきました。

山本さんは17年前に来日され、日本人の夫と結婚し英会話教室を運営するかたわら、英語講師としても小中学校などで活躍されています。10代から世界に興味をもち各国を旅した経験の持ち主でもある山本さんは、日本をどう感じたのでしょうか。

Q：「夫が外で働き妻は家庭を守るべき」というような固定的性別役割意識はありますか

イギリスでは共働きが主流です。来日した頃は、「夫婦は夫が中心」「女性は結婚や出産で仕事を辞める」という日本の価値観にとっても驚きました。私が結婚したときも「仕事はいつ辞めるの？」と聞かれたのを覚えています。最近は日本も働く女性が増え、職場や家族の形も変わってきていると感じています。

Q：夫婦の家庭での役割分担はどうなっていますか。

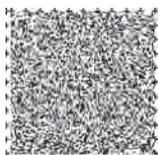
家事や育児は分担するのがあたり前です。夫婦は平等ですが、DVなど女性の人権が脅かされる場合もあります。ただし社会保障が整備され、離婚しても住宅や生活手当、養育費など国の補助があるので、経済的な理由で離婚しづらいというケースは少ないです。介護の面でも、日本のような「嫁が看る」価値観はなく、介護サービスを活用しています。

Q：働き方について日本とイギリスで違う部分はありますか。

イギリスに限らず欧米では多くの場合、長時間労働や残業はほとんどありません。日本で働き始めたとき、男性が優遇されていると感じたり定時に帰ろうとして驚かれたりしたことがありました。日本も家族や自分の時間と両立できる働き方が増えるといいですね。

Q：普段の仕事をとおして、子どもたちからジェンダーを感じることはありますか。

あるとき、子どもたちに将来の夢を聞いたところ、男の子はスポーツ選手や科学者などで、女の子は花屋さんやパティシエ、なかでも一番驚いたのは主婦という答でした。イギリスでは専業主婦は職業とは思われていません。性別にとらわれない、自分らしい未来を考えられるといいなと思います。



★取材協力★ 和歌山県国際交流センター

住所：和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛8F TEL：073-435-5240 水・祝休館
相談カウンター対応日時：休館日を除く毎日午前10時～午後4時（県民や在住外国人の方対象）
詳しくは「和歌山県国際交流センター」で検索してください。

共同参画を見てみよう

知ってる？

世界の男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数ランキング 2015 では、日本は **145** か国中 **101** 位。

これは毎年、世界経済フォーラムが世界各国の男女格差を順位づけして発表しているものです。国連などの国際機関のデータに基づき経済、教育、政治、健康の4分野から算出し、上位ほど男女格差が少ないとされています。男女平等が進む北欧や欧米は上位にランクインしています。日本は経済・政治の分野で女性の参画が低いと言われています。

1位 アイスランド	7位 フィリピン	41位 イタリア	日本の男女平等は まだまだじやのう
2位 ノルウェー	10位 ニュージーランド	75位 ロシア	
3位 フィンランド	18位 イギリス	91位 中国	
4位 スウェーデン	28位 アメリカ	101位 日本	
5位 アイルランド	30位 カナダ	115位 韓国	

※台湾は、国連に加盟しておらず、また OECD (経済開発協力機構) にも加盟していないので、ランキングには入っていません。

台湾出身：相川恵 (吳 欣芳) さん

(大阪入国管理局関西空港支局通訳・中国語講師)



台湾は、日本と同じ 1999 年に男女共同参画法が公布されました。様々な政策を進め、今年 5 月には女性初の総統が誕生しました。

21 年前に日本人の夫との結婚を機に来日された相川さんは、現在は空港で通訳の仕事をして中国語の講師としても活躍されています。同じアジアであっても違いは多いという相川さんは、日本をどう感じたのでしょうか。

Q：「夫が外で働き妻は家庭を守るべき」というような固定的性別役割意識はありますか。

昔はそういう意識はありましたが、いまの台湾は共働きがほとんどで、小さい頃から男女関係なく教育を重視する影響もあり、女性が家事を担うものだという意識はありません。日本に来た頃、家事全般ができる女性が評価され、「花嫁修業」という価値観があることに驚きました。

Q：夫婦の家庭での役割分担はどうなっていますか。

現在家事や育児は家族で分担するという文化が根づいています。ただ、仕事から帰ったあとの家事や育児を担う割合は女性の方がやはり多いかなとは感じます。

でも、外国人労働者を受け入れている国の施策によって、住み込みのベビーシッターやヘルパーが多く、介護や育児面は外国人労働者が担っている家庭が少なくありません。

Q：働き方について日本と台湾で違う部分がありますか。

台湾のほとんどの女性は、フルタイムで働いています。また終身雇用という働き方はなく、女性も男性もよりよい環境やキャリアを求め何度も転職します。私は日本で 10 年間専業主婦だったので、高等教育を受けたのに働いていないことが親に申し訳ないと日本語の勉強をがんばりました。日本でも働きたいと願う女性が能力を十分に発揮できる環境が整うといいと思います。

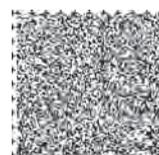
Q：女性の社会進出についてはどうですか。

管理職や議員、起業する女性は珍しくありません。働き続けられるように妊娠中から出産後もサポートを受け、平日はベビーシッターや祖父母宅に子どもを預け、週末だけ自宅に連れて帰る家庭もよくあります。

また保育所や学童保育も充実していますし、仕事が終わるまで親の会社で待つこともできます。そうした社会のなかで育つので自然と男女平等の意識が根づくのかもしれないね。

和歌山県国際交流センターは、あらゆる国の人々が集うふれあいの場として 1998 年に設置され、国際交流活動の支援、情報の収集・発信、県内在住・滞在の外国人に対する支援などを行っています。

また、相談カウンターを設置し外国人の方からの生活相談や、県民の方からの国際交流や留学に関する相談などを受け付けるなど、外国の方が訪れやすく、住みやすい、世界に開かれた地域づくりを推進しています。



講座・イベント案内

詳しくは、“りいふる”HP、県民の友をご覧ください♪

『男女でつくる元気な和歌山』ポスター募集

応募資格：県内に在住、または通学する小学生、中学生及び高校生
締切：平成28年9月16日（金）（必着）
応募方法：作品の裏面に、必要事項を記入したポスター応募票を貼り、“りいふる”まで提出してください。（郵送可）

公開セミナー in 有田川町 「楽しく生きるためのパートナーシップ ～共に依存しない生き方をめざして～」

『夫源病』の名づけ親である、石蔵文信さんをお迎えし、男女が依存することなくいきいきと生きる秘訣をお話いただきます♪
日時：10月2日（日）13：30～15：00
会場：きびドーム（有田川町下津野2021）
講師：石蔵文信さん（医師、大阪樟蔭女子大学教授）

男性の育児参加促進事業

女性が活躍するには、男性の家事や育児への一層の参画が必要です。県では、男性を対象にした育児参加の啓発講座、女性を対象にした父親の育児参加に向けた講座などを開催し、男性がより育児にかかわっていく社会づくりをめざします。

『パパ対象啓発講座』4回

県内4か所で、パパを対象にした子育て講座を実施。一時保育つきなので、パパが勉強中はママにも一人の時間をプレゼント♪もちろん夫婦一緒に参加もできます。

『ママ対象啓発講座』24回

ママサークルなどに講師を派遣。子育て夫婦の間で起きがちなすれ違いの秘密、パパが育児により積極的にするために必要なことを少人数制の講座で学びます。

特設ホームページを開設し、お役立ち情報をどんどんお届けします。

りいふるフェスタ2016

『草食男子』などの流行語を生み出した、コラムニストの深澤真紀さんの講演会を予定しています。

日時：11月19日（土） 会場：ビッグホエール



お楽しみに！

“りいふる”図書室へいらっしゃい♪

保育つき読書の時間

家事や育児などで自分の時間をもてない方に、お子さんをお預かりして読書を愉しむ時間です。

日程：10月6日（木）、12月8日（木）
10：30～12：00
一時保育：1歳～就学前のお子さん

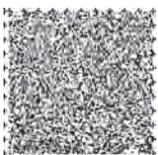
大人のための“りいふる”読み語り広場

詩や絵本をとおして、ジェンダーに気づく機会に、また癒しやエンパワーができる、大人のための時間です。

日程：10月14日（金）、12月16日（金）
10：30～11：30
一時保育：1歳～就学前のお子さん

特設コーナーやっています！

年間をとおして男女共同参画や女性作家特集など様々なテーマに関連した書籍・DVDの紹介、資料展示を行っています。借りるもよし、図書室で読みふけるもよし、あなたらしく活用してくださいね♪



女性に対する暴力をなくす運動 （毎年11月12～25日）

“りいふる”では、DV・デートDV、性暴力の防止のための冊子や関連図書の紹介など、女性の人権尊重のための啓発を行っています。

期間中（14・21・23日は休館）、先着30人に、きいちゃんメモ帳と入浴剤をプレゼントします。

青少年・男女共同参画課インフォメーション

◆男女共同参画推進事業者を登録しました
(平成 28 年 5 月 1 日現在登録数：94 事業者)

県では、男女がともに安心して生き生きと働くことができる職場・環境づくりに取り組んでいる事業者の皆さんを登録し、その活動を応援するため、ホームページなどで広くその取組を紹介します。今回は平成 28 年 2 月～4 月末までに新たに登録した事業者です。登録申請は随時受付中。

事業者の皆さんからの申請をお待ちしています。

和歌山県 男女共同参画推進事業者 [検索](#)

事業者名 (登録番号)	業種 (所在地)	取組内容
株式会社小久保工業所 (男女第 92 号)	製造業 (海南市)	・女性を積極的に採用し、営業・商品企画広報部門への登用による、女性の職域拡大を推進 等
有限会社山本建設 (男女第 93 号)	建設業 (印南町)	・育児・介護を理由とした退職者の再雇用 等
株式会社小池組 (男女第 94 号)	建設業 (和歌山市)	・資格取得のための講習費用・受験料等を会社が負担するとともに、資格手当や奨励金を支給し、スキルアップを支援 等
大揚興業株式会社 (男女第 95 号)	建設業 (和歌山市)	・資格取得のための講習費用・受験料等を会社が負担するとともに、資格手当の規定を整備し、スキルアップを支援 等
越内社会保険労務士事務所 (男女第 96 号)	社会保険労務士・行政書士 (和歌山市)	・時間短縮勤務や在宅勤務制度を導入し、多様な働き方や、継続して就労できる職場環境を整備 等
社会福祉法人寿敬会 (男女第 97 号)	社会福祉・介護保険業 (和歌山市)	・事業所内保育所を設置し、働きやすい職場づくりを推進 等
株式会社南洋開発 (男女第 98 号)	建設業 (由良町)	・資格取得のための講習費用・受験料等を会社が負担することで、スキルアップを支援 等
株式会社第三港湾建設 (男女第 99 号)	建設業 (和歌山市)	・資格取得のための講習費用・受験料等を会社が負担することで、スキルアップを支援 等
株式会社明生工業 (男女第 100 号)	建設業 (御坊市)	・資格取得のための講習費用・受験料等を会社が負担することで、スキルアップを支援 等

“りいぶる” 図書室

☆スタッフおすすめ図書☆

25 パーセントの女たち

未婚、高学歴、ノンキャリアという生き方



著者：梶原公子
出版社：あっぷる出版社

家庭科教員の経歴をもち、「家庭科男女共修運動」にもかかわってきた著者が、「25 パーセントの女たち」と名づけた高学歴、未婚、ノンキャリアの若年女性たちから現代社会を考察した本。

彼女たちは男社会の「標準」から降り、媚びずに「自分」を生きている。それは現代の社会問題に風穴を開け、社会を変える光となると著者は言う。これからの女性の生き方、家族のあり方に一石を投じる一冊。

女たちの都

～ワッゲンオッゲン～

DVD



シアター Café
上映します！

監督：いのり あきら
映
2012 年作品

熊本県天草市を舞台に過疎化、少子化が進む漁師町で、町おこしをする女たちの奮闘記。酒を飲んで調子の良いことばかり言う男たちには頼れない！今こそ女が立ち上がるのだ！と、元遊郭を料亭に変えて「花街復活」に邁進する。女たちが率いて踊る祭りのシーンは「あっぱれ」である。

この映画の製作に 6 年の歳月をかけた天草の女たちの反骨精神たっぷりの映画だ。



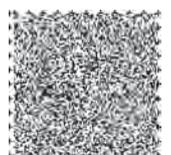
シアター Café
“りいぶる”

「女たちの都 ～ワッゲンオッゲン～」

日時：11 月 25 日 (金)
13:30～16:00
会場：りいぶる会議室 A

上映後に、お茶を飲みながら交流会を行います(^^)

くまモン
映画初出演
作品！



自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室
相談受付専用ダイヤル 073(435)5246

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。
 秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に女性相談員が応じます。

電話相談

- ☎(水)木(金)土(日) 9:00～20:30 (受付は20:00まで)
- 〇〇〇〇〇〇(日) 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

- ☎(水)木(金)土(日) 9:00～17:30 (受付は16:30まで)
- 〇〇〇〇〇〇(日) 9:00～16:00 (受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるところの問題に女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

- 〇〇〇〇(金)〇〇〇 13:00～15:40
 ※第1～第3金曜日
 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

- 月4回 13:00～14:50
 ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

- ☎(水)〇〇〇〇〇 16:00～20:00 (受付は19:30まで)
 ※毎月第2水曜日
 予約優先 (匿名可)
 相談時間は1人40分程度

性暴力について
 相談したい…

性暴力救援センター和歌山
 マイン
わかやま mine
 (和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー
073-444-0099

- 相談・医療 毎日/9:00～21:30
- 緊急医療 毎日/9:00～22:00

こことからだの回復のために女性支援員が細やかな支援を行います。
 ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者のひろのみずえさんは、様々なテーマの本の挿し絵や冊子、パンフレットなどのイラストを描かれています。
 センターの愛称“りいぶる”はフランス語で「自由な (libre)」の意味。子どもたちが自由な未来に思いをはせる様子を表現されました。砂浜でとても気持ちよさそうですね。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245
 F A X (073) 435-5247
 《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp
 開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時
 日曜：午前9時～午後5時30分
 休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)
 年末年始(12月29日～1月3日)

りいぶる 検索

フェイスブックも更新中♪

—企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんにい—